

# 平成20年度 白鳥寮・しらとり 事業計画概要

前年の概況

1 入所 16世帯、退所17世帯あり、入所9世帯はDV、8世帯の児童が被虐待児、1世帯が若年母子、1世帯が外国籍、知的障害児の世帯が1あった。退所2世帯は都営住宅、他施設への退所が3、世帯分離の退所が2あった。

2 今年度在籍34世帯中、府中市からの受入が9世帯の他、保護実施機関は14市あった。

3 東京都、市区町村(他県含む)、大韓民国・民間団体・その他関係者約200人の見学者を受け入れ、対応した。

4 更なるサービスの向上に向け、第三者評価の4回目の受審(訪問日:1月11日福祉経営ネットワーク)のほか、サービス自主評価も3児童施設共通で1月に実施した。

5 支援センターは「たち」との連携を整備し、職員のスキルアップを目指し各種研修にも積極的に参加した。

6 「オープンルーム」は24回実施し、約1000組の世帯が参加、2歳児までの母親を対象とする「ミニルームあいあい」を11回実施し、毎回8組以上が参加した。

7 子育て支援プログラムNP(ノーバディーズ・パーフェクト)プログラムを3回(各8日)実施し、22組43名が参加した。内1回は住吉文化センターで行った。行政・利用者より高い評価を受けている。

8 トワイライトステイ事業は他事業所の参入もあった中で、利用数は前年度より減少している。ショートステイ事業は多様な利用理由に対応した。

課題

1 利用者が日々安心・安全に生活および利用できる建物管理と維持  
「子ども」が安心して、健やかに育つ環境を最重視

2 東京都の動き-要保護児童対策と虐待防止対策の推進  
心理療法担当職員の常勤化等

3 白鳥寮における若年・外国籍・精神的課題・DVといった入所世帯への対応強化

4 府中市における新たなサービス事業の構築、展開  
①トワイライトステイ等利用者数の減少への対応  
②府中市他関係機関との連携

5 築12年を経た建物の修繕に備える体制整備  
①設備の老朽化への適切な対応  
②中長期経費計画の策定

6 記録の正確、適切な記述、文章作成を行うための職員のスキルを高める。(19年度事業評価分析シート 課題より)

7 サービス自主評価・第三者評価結果を踏まえ、職員のサービスマナーのより一層の向上(19年度事業評価分析シート 課題より)

## 本年重点ポイント

重点ポイント

- 1 利用者が安全・安心に生活できる場の提供  
防犯防災の徹底と利用者からの信頼を目指す。
- 2 府中市子ども家庭支援センターたちとの共働  
先駆型支援センター「たち」を踏まえた『しらとり』のあり方
- 3 職員個々の健康管理の徹底  
全スタッフが1年間健康で働けるよう目指す
- 4 相互に信頼できる職員間の連携強化  
シフト勤務の中で、正確な職員間の伝達に留意する
- 5 スキルアップへの各種研修の実施と参加  
OJTをはじめ、内外研修の参加
- 6 現状における「あるべき施設」の検討  
時代に見合ったあるべき『施設』を歴史と現実を踏まえ再考する。
- 7 個別支援計画に沿った利用者への自立支援  
記録の正確な記述と定期的な振り返りによる支援方針の見直し(19年度事業評価分析シート 課題より)

## 全体を通した考え方

法人の理念である「私たちは家族を支援します。」を再認識し、子どもたちの福祉の向上に取組む。また、地域の方々に感謝の気持ちを持ち、『子育て支援』の核拠点としての役割を担うと同時に、『母子生活支援施設』として利用者へ深い共感を持ち、安全安心を常に心がけ、安心して暮らせる施設を目指す。

しらとりの方針として

- 1 利用者の安心・安全を保持する。
- 2 地域との連携を図る。
- 3 節約に努める。
- 4 常に防災に心がけ、火を出さない。
- 5 利用者、地域の方の声を聞く。

近年の利用世帯はDV被害者や虐待等を受けた世帯が多く、心理的ケアが重要視されている。また、現在、社会的養護体制の見直しがなされる中、現行の施設のあり方の見直しが検討され、母子生活支援施設も、この特性を活かしつつケアの改善が望まれている。

	対利用者	職員・業務
運営・管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者、職員と互いに協力し、毎月の訓練を重ねながら防災意識を高く持ち、安全な施設の維持に努める。</li> <li>2 警察の防犯指導に沿った来所者の把握、部外者の進入防止に努め、利用者、子どもに安全な生活環境を提供する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員の健康管理および心のケアに配慮する。(定期面談の実施)</li> <li>2 コスト管理の徹底により、効率よい運営を実施する。</li> </ol>
府中市委託事業	<p style="text-align: center;">子ども家庭支援センター</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者への的確な対応ができるようたちとのケース会議・研修の共有を図る</li> <li>2 オープンルームの開催(年24回うちあおぞら5回-黒鐘公園および武蔵台文化センター広場)ミニルームあいあい(年12回)</li> <li>3 母親支援プログラムNP(ノーバディーズ・パーフェクト 5月～7月・9月～11月出張NPの実施・1月～3月)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者の話しを傾聴し、内部組織での情報共有とともに、関係機関とのネットワークの構築にあたる。</li> <li>2 サービス機能の調整・企画立案をサポートできるようにする。</li> <li>3 サービス事業担当職員のスキルアップに向け、合同でのケース検討会を実施する。</li> </ol>
母子生活支援	<p style="text-align: center;">母親</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 登録時の面談および申し込み電話時でのコミュニケーションを重視する(受け入れ時のトラブル防止)</li> <li>2 関連施設の紹介を的確にできるようにする</li> </ol>	<p>今後の事業体制について府中市と協議する。</p>
母子生活支援	<p style="text-align: center;">学童</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者が自立に向けて、個々の目標を達成できるように支援する-定期面接(年2回)の実施</li> <li>2 心理職(臨床心理士他)との連携による、心のケアに基づく利用者支援を行う。</li> <li>3 就業支援-ハローワーク</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自立支援計画の策定 母子自立支援員と協議して速やかに実施する。</li> <li>2 心理職との連携 月1回、心理士・栄養士によるプログラムを実施する。</li> <li>3 技能習得に向けて 必要な個別支援を行う。</li> <li>4 若年層の利用者への支援</li> </ol>
母子生活支援	<p style="text-align: center;">保育</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもたちが安心して日常生活を営めるように、施設での集団活動で仲間意識を育みながら支援する。</li> <li>2 課題等のある児童に対しては個別支援を行い、子どもに応じた関わりを行なう。必要に応じて心理職、学校、関係機関と連携し、支援する。(19年度事業評価分析シート 課題より)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設内学童保育の安全管理の徹底</li> <li>2 職員同士で学童・トワイライトのケースについて共有できるように報告、連絡、相談を確実に行う。</li> <li>3 職員衛生・環境整備の向上 (19年度事業評価分析シート 課題より)</li> <li>4 他機関との連携強化</li> </ol>
連携	<p style="text-align: center;">食事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設内保育、トワイライトステイ事業における給食については、季節に応じた旬の食材を献立に取り入れる。四季感を出し、子どもたちの豊かな味覚を形成する。</li> <li>2 入所者に、食への関心が持てる雰囲気・機会を提供し、身近な食育の取り組み(マナー等)を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 衛生管理の徹底 (19年度事業評価分析シート 課題より)</li> <li>2 食物アレルギーへの対応として、代替食の提供</li> </ol>
連携	<p style="text-align: center;">サービス事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ニーズにあった、ショートステイの受け入れ対応の確立。</li> <li>2 トワイライト利用者、保護者への季刊通信発行(「おかえりい」年4回発行)</li> <li>3 トワイライト利用者減に伴う、運行受け入れの見直し。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職免許法実習の受け入れ継続(ヒトの活用)</li> <li>2 多様化するサービス受け入れ理由に対応すべく府中市との協議を継続的に実施する</li> </ol>